

## 平成30年度の予算決定

# 予算総額は 184億3,900万円

一般会計：104億7,600万円 特別会計：72億6,580万円 企業会計：6億9,720万円



養老町議会第1回定例会は、3月2日に開会され、最終日の20日、一般会計104億7600万円、9つの特別会計および企業会計（上水道事業合わせて79億6300万円）にのぼる平成30年度予算が可決されました。  
ここでは、可決された新年度予算の概要について紹介します。

### 基本姿勢

大橋孝町長は、新年度の基本姿勢として、「養老改元1300年祭を今後のまちづくりの礎とし、①成果の高い事業を継続し更に発展させること、②将来を担う子どもたちを取り巻く環境の整備と高齢者対策を着実に進めること、③町民の生命と財産を守り、安心・安全を確保することの3点について、重点的に取り組む年にしたい」と述べました。

### 予算のあらまし

予算の内訳は、一般会計が104億7600万円、特別会計・企業会計は合わせて79億6300万円で、総予算は、184億3900万円となります。

一般会計予算は、前年度比4・7%減、特別会計および企業会計は前年度比9・4%

減となっています。

一般会計の歳入については、人口減少と固定資産税の評価替えの影響により、町税は、前年度比2・1%減の33億7127万3千円を計上しています。地方交付税については、地方財政計画の内容をふまえ、前年度比0・5%増の21億1560万円を計上しています。また、町債については、地方財源の不足に対処するための臨時財政対策債が4億4890万円、道路整備事業として地方道路等整備事業債に1億6470万円、上多度公民館新築工事の社会教育施設整備事業債に1億5130万円、耐震補強工事などの消防施設整備事業債に7310万円など、総額で9億3690万円となりました。

一方、歳出面については、効率的・効果的な行政運営の実現を目指し、養老改元1300年祭後の100年に繋げるべく、本町の特色ある地方創生事業を精力的に展開し、限られた財源を最大限有効に活用することとしています。